サポート情報記事

Organizational Chart Web パーツの追加と構成方法

2026 © Vitextra SIA. 無断転載を禁じます。

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

はじめに 4

前提条件 4

ページへの **Web** パーツの追加 5

Web パーツの構成 6

動作 6

フィルター 7

表示 **(**外観**)** 8

エクスポート形式 9

Microsoft Teams 9

詳細情報 **(**バージョン情報**)** 9

設定の概要 10

ページの発行 11

用語 12

はじめに

この記事では、**Vitextra Organizational Chart** Web パーツを **SharePoint Online** ページに配置し、プロパティ ペインで構成する方法を説明します。必要な API アクセス許可の承認から、グラフ　　モード、レイアウト、従業員カードの属性、フィルター、エクスポート形式の選択までを取り上げます。Organizational Chart パッケージが、テナントのアプリ　カタログにすでに展開されていることを前提としています。

> ヒント
>
> Web　　パーツがまだサイトで使用できない場合は、先に展開してください。KB10035. SharePoint Online に Vitextra 製品をインストールする方法を参照してください。Web パーツの機能の概要については、KB10232. Organizational Chart: ソリューションの概要を参照してください。

前提条件

Organizational Chart は、**Microsoft Graph** API を通じて **Microsoft Entra ID** から従業員データを読み取ります。そのため、次のアクセス許可がテナントで承認されて初めて、Web パーツはグラフを作成できます。

アクセス許可	用途
`Directory.Read.All`	ディレクトリ構造と、上司と部下の関係の読み取り
`User.Read.All`	ユーザー プロファイルと従業員の写真の読み取り
`Presence.Read.All`	カードへの **Microsoft Teams** のプレゼンス状態の表示

アクセス許可の要求は、パッケージの展開時に自動的に登録されます。承認するには、グローバル管理者が ****SharePoint 管理センター****を開き、**詳細** → **API アクセス** に移動して、Microsoft Graph の保留中の各要求を選択し、**承認** をクリックします。

警告

アクセス許可が承認されるまで、Web パーツは従業員を読み込めず、グラフの代わりにエラーが表示されます。`Presence.Read.All` だけが不足している場合は、グラフは動作しますが、プレゼンス インジケーターは表示されません。

Web パーツをページに追加するには、そのページに対する編集アクセス許可が必要です。通常は、**サイト所有者**または**サイト メンバー**のロールです。

ページへの Web パーツの追加

1 グラフを表示するページを開き、右上の **編集** で編集モードに切り替えます。
2 Web パーツを配置する場所にポインターを合わせ、丸い **+** (新しい Web パーツの追加) ボタンをクリックします。
3 ツールボックスで **Org Chart** と入力し始め、一覧から Web パーツを選択します。

Web パーツがページに追加され、既定の設定で会社全体のグラフがすぐに作成されます。



Organizational Chart Web パーツの追加

ヒント

横向きのツリーは、広いスペースがあるほど見やすくなります。ズームアウトしなくても複数のブランチを並べて表示できるよう、Web パーツは**全幅**のセクションまたは 1 列のセクションに配置してください。

Web パーツの構成

Web パーツを選択し、**鉛筆 (Web パーツの編集)** アイコンをクリックしてプロパティ ペインを開きます。設定は、以下のグループに整理されています。



Web パーツのプロパティ ペイン

動作

- **グラフ モード** - グラフの起点です。
- **配置** - グラフのレイアウトです。**水平方向の配置** (横向き: パンやズームが可能な上から下へのツリー) または **垂直方向の配置** (縦向き: 狭い列やモバイル画面に適した、インデント付きのコンパクトなリスト) を選択します。
- **表示するレベル** - ページを開いたときに展開される階層のレベル数です。1 ～ 10 で指定します (既定値は 3)。それより深いレベルは、訪問者が展開するまで折りたたまれたままです。
- **検索ボックスを表示する** - グラフの上の検索ボックスを表示または非表示にします。

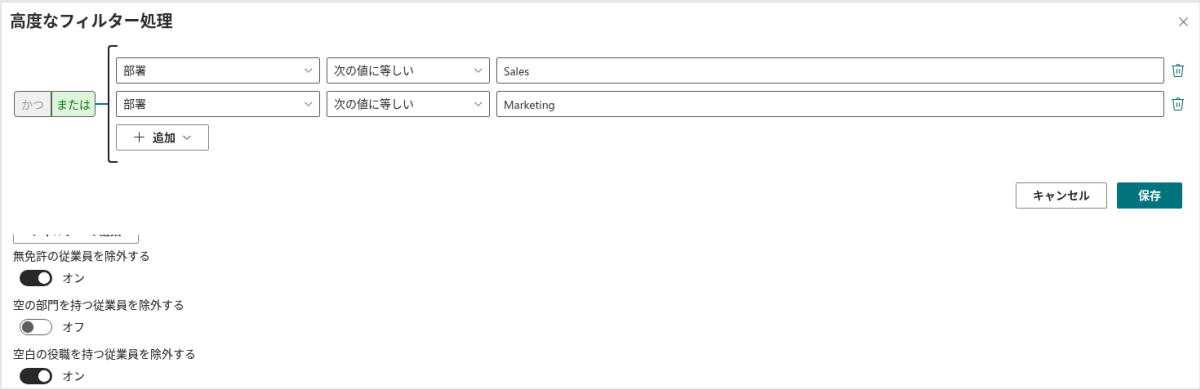
メモ

特定のユーザーに報告する従業員 モードでは、ユーザーを選択するまで、Web パーツに *ユーザーが定義されていません。 組織図の作成を開始するユーザーを選択するか、会社全体モードに切り替えます。* というメッセージが表示されます。選択したアカウントがその後ディレクトリから削除された場合は、代わりに *AzureADに特定のユーザーが見つかりません。* というメッセージが表示されます。別のユーザーを選択するか、**全社** に戻してください。

フィルター

このグループでは、グラフに含める従業員を制御します。

- **高度なフィルター処理 - フィルターの編集** をクリックしてクエリ ビルダーを開きます。任意のカード属性 (部署、役職、市区町村、国、ユーザー名など) に条件を追加し、それぞれに演算子 (*次の値に等しい* (等しい)、*次の値に等しくない* (等しくない)、*次の値を含む* (含む)、*が次の値を含まない*、*次の値で始まる* (で始まる)、*が次の値で終わる*、*が空白でない*、*が空白である* など) を選択して、**かつ/または** ロジックで条件とグループを組み合わせます。既定では、**アカウントの状態** *次の値に等しい* **オン** という 1 つの条件が設定されており、無効なアカウントがグラフに表示されないようになっています。これを変更するまで、プロパティ ペインには *フィルターは適用されていません* と表示されます。 無効なアカウントは、このフィルターに関係なく Microsoft Graph の要求で除外されます。
- **ライセンスのない従業員を除外する** (ライセンスのない従業員を除外) - 共有メールボックスやサービス アカウントなど、**Microsoft 365** ライセンスが割り当てられていないアカウントを非表示にします (既定でオン)。
- **空の部門を持つ従業員を除外する** (部署が空白の従業員を除外) - **部署** フィールドが空のアカウントを非表示にします (既定でオフ)。
- **空白の役職を持つ従業員を除外する** (役職が空白の従業員を除外) - **役職** フィールドが空のアカウントを非表示にします (既定でオン)。



フィルター グループとクエリ ビルダー

警告

フィルターと除外は、ディレクトリの読み込み後、ツリーが構築される前に適用されます。フィルターが上司を除外し、その部下を残した場合、その部下は階層の他の部分との接続を失い、ブランチ全体とともにグラフから消えます。グラフを特定の部署に絞り込むときは、その部署の責任者もフィルターに一致していることを確認してください。

ヒント

部署フィルターの具体的な例については、KB50026. Organizational Chart を特定の部署に絞り込んで表示する方法を参照してください。

表示 (外観)

- **サイズ** - 従業員カードのサイズで、1 (コンパクト、名前のみ) から 4 (大、写真と 3 行のテキスト付き) まであります。既定値は 4 です。
- **ヘッダー**、**2 行目**、**3 行目** - 各カードに表示する属性です。**ヘッダー** フィールドは常に使用できます。**2 行目** はサイズ 2 以上、**3 行目** はサイズ 4 でのみ表示されます。各フィールドには、氏名、ID、部署、役職、携帯電話、名、姓、ユーザー名、電子メール、都道府県、郵便番号、住所、市区町村、国/地域、オフィスの所在地　のいずれかの属性を設定できます。既定値は　氏名、役職、部署　です。
- **直属の部下の数を表示** - 各カードに、その人の直属の部下の数を示すバッジを追加します (既定でオフ)。



表示 グループ

エクスポート形式

PDF と **Jpeg** の 2 つのトグルで、グラフの上の **エクスポート** ボタンで提供される形式を制御します。どちらも既定でオンです。両方をオフにすると、ボタン自体が削除されます。

Microsoft Teams

このグループは、Web パーツが Microsoft Teams 内 (個人用アプリまたはチャネルタブ) で実行されている場合にのみ表示されます。**現在の設定を Microsoft Teams の既定として保存** ボタンは、現在の構成をテナント全体の既定として保存します。これにより、個人用アプリを開くすべてのユーザーに、同じ構成のグラフが表示されます。設定が保存されると、確認メッセージが表示されます。

詳細情報 (バージョン情報)

ライセンスの状態 (トライアル、アクティブ、期限切れ)、製品バージョン、テナント ID、開始日を表示し、トライアルやアクティブ化のアクションを提供します。

ヒント

テナントへのライセンスの割り当ての詳細については、KB10037. Vitextra サブスクリプションを管理する方法を参照してください。

設定の概要

グループ	設定	値	既定値
動作	グラフ モード	全社 / 特定のユーザーに報告する従業員	全社
動作	個人	従業員 (特定のユーザーに報告する従業員モードのみ)	-
動作	配置	水平方向の配置 / 垂直方向の配置	垂直方向の配置
動作	表示するレベル	1 ～ 10	3
動作	検索ボックスを表示する	オン / オフ	オン
フィルター	高度なフィルター処理	クエリ ビルダーの条件	アカウントの状態 次の値に等しい オン
フィルター	ライセンスのない従業員を除外する	オン / オフ	オン
フィルター	空の部門を持つ従業員を除外する	オン / オフ	オフ
フィルター	空白の役職を持つ従業員を除外する	オン / オフ	オン
表示	サイズ	1 ～ 4	4
表示	ヘッダー / 2 行目 / 3	15 個のプロファイル	氏名 / 役職 /

グループ	設定	値	既定値
	行目	属性のいずれか	部署
表示	直属の部下の数を表示	オン / オフ	オフ
エクスポート形式	PDF、Jpeg	オン / オフ	オン、オン

ページの発行

グラフの状態に問題がなければ、**再発行** (または **発行**) をクリックして、ページを訪問者が利用できるようにします。設定はページとともに保存されるため、すべての訪問者に同じモード、レイアウト、フィルターが表示されます。訪問者が変更できるのは、ズーム、展開するブランチ、検索クエリです。詳細は KB10234. Organizational Chart: エンド ユーザー向けクイック ガイドを参照してください。

製品の詳細: *https://vitextra.com/ja/products/org-chart*

用語

Microsoft 365
Microsoft 365 は、Word、Excel、PowerPoint、Outlook などの生産性アプリと、SharePoint、OneDrive、Teams、Exchange Online などのクラウド サービスを、高度なセキュリティおよびデバイス管理と組み合わせた、クラウドベースのサブスクリプション サービスです。

Microsoft Entra ID
Microsoft Entra ID (旧称 Azure Active Directory) は、Microsoft が提供するクラウドベースの ID およびアクセス管理サービスです。組織は、ユーザーの ID と、社内外のさまざまなリソースへのアクセスを効率的に管理し、保護できます。これらのリソースには、Microsoft 365、Azure プラットフォーム、その他数千もの Software as a Service (SaaS) アプリケーションが含まれます。

Microsoft Graph
Microsoft Graph は、Microsoft Entra ID (旧称 Azure Active Directory) と OAuth 2.0 で保護された REST API です。SharePoint、Outlook、OneDrive、Teams など、Microsoft 365 のデータやサービスにアクセスするための単一のエンドポイントを提供します。

Microsoft Teams
Microsoft Teams は、オンライン会議、ライブ イベント、ドキュメント共有の機能を備えた、ビジネス コミュニケーション向けのチャット ベースのコラボレーション プラットフォームです。

SharePoint Online
SharePoint のクラウド版で、Microsoft 365 内の Web ベースのコラボレーション プラットフォームです。組織のデジタル情報、コンテンツ、ナレッジを保存、共有、管理するための幅広い機能を提供します。

SharePoint 管理センター
SharePoint 管理センターは、SharePoint 管理者が、テナントのサイト、共有とアクセスの設定、アプリ カタログ、ストレージ、その他の SharePoint Online の設定を

用語

管理するための Web ポータルです。

サイト

SharePoint サイトは、SharePoint プラットフォーム内の情報のコンテナーです。サイトには通常、ドキュメント ライブラリ、リスト、予定表、ディスカッション ボード、ワークフローなどの機能があり、チーム内または部門間でのコラボレーション、コミュニケーション、ドキュメント管理を促進します。サイトは、組織の特定のニーズやワークフローに合わせてカスタマイズおよび構成できます。

テナント

Microsoft 365 テナントは、Microsoft 365 サービスの専用インスタンスです。テナントには、ユーザーやドメイン (Microsoft Entra ID)、構成、サブスクリプション、サービスなど、組織の情報が保持されます。組織は、Microsoft 365 サービスにサインアップすることでテナントを受け取ります。